

湖北広域行政事務センター

新一般廃棄物処理施設整備運営事業

事業化シミュレーション 前提条件から総合評価 (3)

◇事業化シミュレーションの内容について [2]

2. 定性評価 (事業方式の特性)

費用以外に関する評価項目の設定をし、従来方式、DBO方式、PFI方式(BTO)の事業方式について、公共と民間とのリスク分担、透明性および公平性の確保、などの視点で評価を行います。

●定性評価の視点の設定

本事業の前提条件を踏まえて、従来方式、DBO方式、PFI方式(BTO)の事業方式について、新施設の基本コンセプトを基に、3つの重視する点に対して評価視点を設定し、定性的な比較を行います。

3つの重視する点

- ① 安定した事業推進 (安定性) 及び、不測の事態への対応 (柔軟性)
事業継続の安定性、災害時・緊急時への対応、事業環境の変化の対応等
- ② 市民からの信頼性、サービス水準 (事業方式に対する信頼性)
民間ノウハウの活用度、住民の合意形成等
- ③ 経済性
競争性の確保等

定性評価項目の設定は、以下のとおりです。

重視する視点	定性評価項目	従来方式	DBO方式	BTO方式	
① 安定した事業推進 (安定性) 及び不測の事態への対応 (柔軟性)	ア ごみ処理施設整備運営事業における先行事例の多さについて	◎	◎	△	
	イ 事業継続の安定性確保 (事業中断の可能性、基準未達時の対応等) について	・設計・建設期間中のリスク対応	○	○	○
		・竣工後のリスク対応	○	◎	◎
	ウ 事業主体の破綻リスク	◎	○	◎	
	エ 災害時・緊急時への対応	○	◎	◎	
	オ 社会環境の変化への対応	△	◎	◎	
② 市民からの信頼性、サービスの水準 (事業方式に対する信頼性)	カ 施設整備時の体制	○	○	◎	
	ア 見学者対応	○	◎	◎	
	イ 市民サービス	○	◎	◎	
	ウ 住民等との合意形成	○	○	○	
③ 経済性	エ 事業財務状況の健全性、透明性の確保	△	△	◎	
	ア 財政支出の平準化	△	○	◎	
	イ 競争性の確保	○	◎	○	
評価基準 ◎優れている ○大きな違いはない △やや劣る		総合評価	-	○	

BTO方式を最も妥当性がある (◎) DBO方式を妥当性がある (○) と評価しました。